

令和元年度 舗装維持管理計画（生活道路）

1. 舗装維持管理計画の概要

➤ 計画策定の目的

厳しい財政状況が続く中で、老朽化が進んでいる道路舗装に対して、将来必要となる補修にかかる財政負担の平準化や、持続可能な維持管理手法の確立、安全性・機能性の確保が重要な問題となっています。

流山市では、道路舗装損傷の現状を把握するため、平成 25 年度から『路面性状調査』を実施しています。この点検結果をもとに、最適な『維持修繕計画』を策定し、今後の維持管理に関する中長期的な予算の平準化を図ることにより、無理のない持続可能な維持管理、かつ市民への安全性・信頼性を確保することを目的としています。

	延長(m)	道路面積(m ²)
幹線道路	20,941	312,798
補助幹線道路	95,154	779,322
区画道路	508,663	2,427,169
合計	624,758	3,519,289

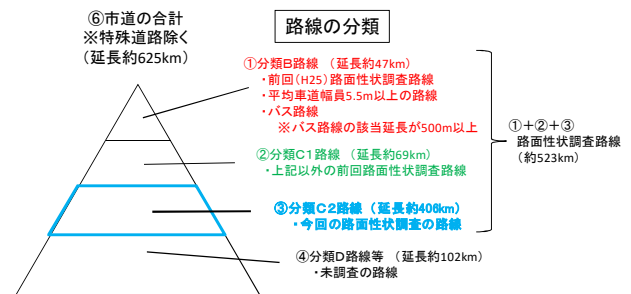
※特殊道路は含まない

出典：道路台帳（舗装維持管理計画策定業務委託（平成28年3月）より）

➤ 計画対象施設

流山市では幹線道路：約 21km、補助幹線道路：約 95km、区画道路：約 500km、計：約 625km におよぶ道路を管理しています。このうち、幹線道路（47km）と、一部生活道路（69km）については平成 27 年度に舗装維持管理計画が策定されています。

本計画は平成 27 年度に以降に路面性状調査を実施した、生活道路 406km を対象として策定したものです。



2. 舗装維持管理方針

➤ 舗装維持管理の基本的な考え方

舗装のマネジメントは、PDCAサイクルを回すことであり、このシステムが舗装マネジメントシステムです。

全体の概略手順は「管理目標の設定」、「舗装の現状把握」、「健全度の評価・将来予測」、「データの蓄積・更新」、「維持修繕計画の策定・管理目標の修正」、「維持修繕の実施」、「事後評価・結果のフィードバック」となっています。

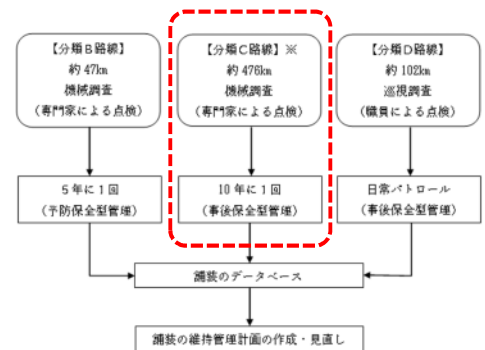
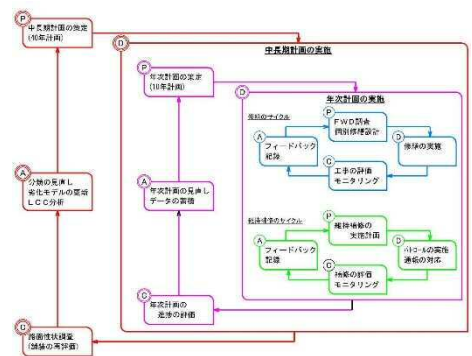
➤ データの蓄積と更新の流れ

本計画での対象は、分類 C 路線に該当します。分類 C 路線は、事後保全型管理とし、機械調査により損傷状態を把握します。

➤ 管理目標と管理水準の設定

路線の重要度に応じたメリハリのある管理を実施するため、管理区分、路線区分および管理水準を設定しました。

本計画の対象路線の管理水準はひび割れ率 50%に設定しました。



交通需要	損傷進行	分類	管理区分	点検方法	延長	管理水準
多い ↑ 少ない	早い ↑ 遅い	B	予防保全型管理	機械調査	47km	ひび割れ率40%
		C	事後保全型管理		476km	ひび割れ率50%
		D		日常パトロール	102km	適宜、維持補修

3. 計画路線の補修区間選定

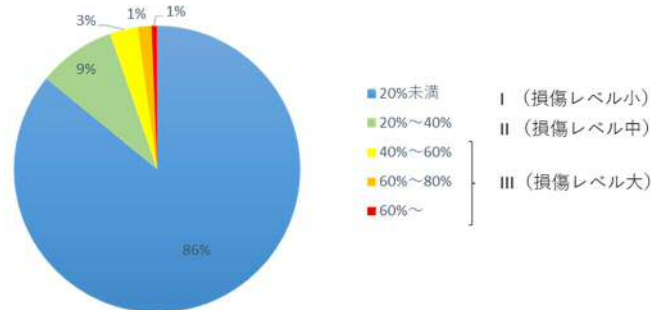
本計画の対象路線（約 462km）について、路面性状調査結果より、『舗装点検要領』におけるアスファルト舗装の健全性の3区分（損傷レベル）をもとに構成比で示すと、右のグラフの通りとなります。損傷レベル大、損傷レベル中に該当する区間は対象路線全体の 14%であることがわかります。

また、対象路線のひび割れ損傷を水準ランク別に集計すると、下表の通りとなります。分類 C 路線の管理水準（ひび割れ率 50%）に満たない延長は 462km 中、16km (3.4%) であることがわかります。

流山市では、このような損傷が存在する区間に対し、計画的に補修を行っていきます。

健全性の区分		状態
I	健全	損傷レベル小: 管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、損傷表面が健全な状態である。
II	表層機能保持段階	損傷レベル中: 管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
III	修繕段階	損傷レベル大: 管理基準に照らし、それを超過している、又は早期の超過が見られる状態である。

出典：『舗装点検要領』平成 28 年 10 月国土交通省道路局



ひび割れ水準ランク		区間数	延長(m)	面積(m ²)	
0.00% 以上～	10.00% 未満	16,980	321,510	1,804,362	補修対象外
10.00% 以上～	20.00% 未満	3,915	73,910	420,743	
20.00% 以上～	30.00% 未満	1,429	26,690	143,994	
30.00% 以上～	40.00% 未満	784	14,735	75,714	
40.00% 以上～	50.00% 未満	466	8,835	44,246	
50.00% 以上～	60.00% 未満	328	6,215	30,949	補修対象
60.00% 以上～	70.00% 未満	227	4,255	20,676	
70.00% 以上～	80.00% 未満	137	2,580	13,678	
80.00% 以上～	90.00% 未満	82	1,540	8,194	
90.00% 以上～	100.00% 未満	58	1,090	5,052	
100.0%		17	155	654	
合計		24,423	461,515	2,568,262	

4. 修繕の優先順位付けと修繕計画

路面性状調査の結果からひび割れ率 20% 以上の損傷が連続している区間を補修候補区間として抽出し、右図のように、様々な視点から設定した評価項目に基づいて、修繕の優先順位付けを行いました。本計画の対象区間において、1 年当たり 5,000 万円となるように優先順位の高い区間から補修を実施することを基本とします。

ただし、工事に際しては占用工事との連携や各年度予算配分状況などを勘案していきます。

